



世界に希望を生み出そう

Rotary

寒川ロータリークラブ



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～

事務所:〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027

例会場:寒川神社参集殿 例会日:月曜日 18:30

会長 村松 一 幹事 山本和好

会報委員(クラブ管理運営委員会)

若菜勝美 鈴木正秋 石丸博久 大澤 剛 茂内 勝 中村 靖 二見 茂 眞原 浩 森嶋洋子 山本和好

第2284回例会 2024年5月20日(月) 雨のち晴れ

司 会 中野副幹事

斉 唱 それでこそロータリー

ソングリーダー 藤クラブ管理運営委員

会長の時間 村松会長

皆さんこんばんは。先週に続いての例会となります。一雨ごとに温かくというより夏に向かって暑くなってまいりました。体調管理が難しい時期かと思いますが、皆様もご留意いただければと思います。私の任期もあと1か月と10日となりました。残りの任期も頑張っていきたいと思っております。さて、本日は山本幹事と島村委員長に地区出向者としてお話を伺いする予定です。お二方どうぞよろしくお願いいたします。ちなみに、来年度の地区への出向者は約100名減るそうです。影響力のある所から鶴の一声で物事が決まってしまう体質はいかななものかと思ひますし、一部の委員会では大変な作業量になり一人の負担が増えると予想されます。同時に余計な委員会を削除すればよいと考えますが、それはないようです。あまり意味をなさない委員会もポスト用に存続するとも聞いております。さて、今、山本幹事が出向している補助金管理委員会に私は丸4年ほどお世話になり勉強させていただきました。その経験を踏まえ、本日は地区に出向するメリットとデメリットを私なりに少しお話ししたいと思います。まず**メリット**です。○他クラブの友人が増える:情報・地域市況・経営経済情報・他クラブの優良な事業 ○仕事につながる:海外物件マンションを購入済み ○地区の内情が見える:お金の流れ、地区の事業の流れ。行きつけの飲み屋が見つかる(藤沢に地区の事務局があるため) **デメリット** ○月1回全体会議の負担 ○役割を振られるとその作業量が増え多少仕事に影響 ○地区の内情が見える:悪い話も聞こえてくる ○地区を第一に考え所属クラブの活動

を疎かにする 余談ではありますが第4グループの中で地区出向者に対して評価されないどころか批判されるクラブがあるそうです。古参の会員からそのように扱われるらしいです。ちなみにそのクラブ、国内外姉妹クラブもないとのこと。寒川RCにはそのようなことは全くありませんので、つくづくは良いクラブだなあとと思う次第でございます。結論としては、狭き門となつてはいますがチャンスがあれば地区出向をしてみるのもRCの醍醐味かと思ひます。先にお話ししたメリットはデメリットを大きく上回ると思ひます。ぜひ本日の卓話も参考にいただき地区への理解を深めていただければ幸いです。以上本日の会長の時間となります。ありがとうございました。

幹事報告 山本幹事

例会変更

なし

週報受理

台北士林RC

その他受理

●ガバナー事務所

～ ROTARY フェス 2024 チケット販売案内 {6/29(土) 第1部13:00～ 第2部16:00～ チケット:3,000円(1ドリンク付き)}

●さむかわ国際交流協会

～ 2024年度定期総会開催案内 {6/1(土)13:30～ 於:

出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
38名	36名	31名	86.11%	第2282回 77.78%
本日欠席者	二見会員、山本哲会員、吉田会員、若菜会員、椎谷会員			

町民センター視聴覚室 14:00 ～ 30周年記念ティーパーティー} (村松会長出席予定)

●寒川町

～相模川美化キャンペーン開催案内 {5/26(日)9:00 ～ 於:川とのふれあい公園} (出席されますとメイクアップ扱いとなります)

回覧

○ハイライトよねやまvol.290

出席報告 加藤クラブ管理運営委員

委員会報告・地区および地域出向者報告

親睦活動委員会 下里委員長

いよいよ来週、創立家族移動例会「伊勢神宮」です。ワクワクしております。例会後に参加者の皆さまはロビーにお集まりください。新幹線のチケットと最終案内をお配りします。よろしくお願いいたします。

同好会報告

なし

第2284回スマイルボックス

石丸クラブ管理運営委員

合計 36,000円

◎村松会長・山本幹事

島村会員、山本会員、本日の卓話、よろしくお願いいたします

◎茂内会員

石井会員、遅ればせながらお子様誕生、おめでとうございます。メジャーリーガーになったら私を通訳にしてください。また、本日息子が初めて内定をもらいました。

◎島村会員

先日、某スナックのゴルフコンペでベスグロ優勝しました。スコアは42-43の85!!自己ベストを更新しました!!県内屈指の難コース:東京カントリーを攻略できたことは自信につながりました。取切戦もガンバリます!!

◎青木、秋本、石井、石腰、石塚、石丸、磯川、井上(晋)、井上(稔)、内野、小澤、金子、菊地、加藤、椎野、清水、下里、鈴木(郁)、高波、中野、中村(光)、中村(靖)、藤、眞原、三澤、三留、森嶋、各会員

地区出向者活動報告スピーチ

島村地区職業奉仕委員会副委員長



皆さん改めましてこんばんは。地区職業奉仕委員会に出向してちょうど3年が終わったところです。思い返すと3年前にどうやって私が地区の出向を命ぜられたのかが、もう思い出せなくなっているんですが、恐らく、入会后ゴルフあるいは例会後の会食と親睦ばかりに一生懸命になっておりましたので、そろそろ勉強してこいということで行かされたんだろなと振り返っております。この職業奉仕委員会はロータリーの金看板と言われるところですが、入会3年目、親睦にしか時間を使っていなかった私には全くもってそれがなんなのかもわからずに、まずは行ってみることから始まったのを覚えています。大変緊張した第1回目の委員会にお邪魔をしたら、寒川クラブにその後転籍いただいた森嶋さんが副委員長でいらっしやいまして、リードしていただきながら1年目を迎えました。よくよく話を聞いてみますと、「何しろ卓話に行くんだ」ということでした。毎年1月の職業奉仕月間に合わせて各クラブから卓話の依頼を受け、そこへ出向いて「職業奉仕とは」という話をするというのが一番大きな仕事になっているということでした。その卓話をするための勉強というのが大変だなあというところからスタートしました。プレゼンテーションのパワーポイントの資料をどんな内容にするかということを委員会ですずっと詰めていくわけですが、プレゼン資料を形にして、そこにセリフをつけて、最終的な卓話のプレゼンテーション資料を作るというのを、初年度から3回担当しました。そうするといいい加減な作り込み方はできない。各クラブに行き話をしていただいて、「へー」と思っていたためのネタを集めたり、その資料を作り込んだりというところがこの3年間で非常に勉強にもなりまし、職業奉仕というものがお腹の中にドスンと落ちたなあという手応えを感じることができました。この3年間で卓話にお邪魔をしたクラブが全部で16クラブ。だいたい毎年5クラブぐらいずつ私が担当して卓話に伺いました。今年度伺ったのは直近ですと、伊勢原平成RCさん、佐野パストガバナーがいらっしやる秦野RCさん。佐野PGは確か私の父と同じ年のJCの理事長だったという話もあり多少恵まれていたと思いますが、かなり厳しい先輩ロータリアンがいるクラブとして緊張しながらお邪魔しました。それでも「島村、こんな基本的な職業奉仕とはみたいな話はもう今まで何回も聞いてきてるんだから、もうちょっと具体的な、最近の事例みたいなところを今度はやってくれよ」と宿題もいただきました。佐藤パストガバナーがいらっしやる津久井中央RCさん、それから秦野RCに卓話に伺った時には、藤会員、金子副会長、小澤エレクトが応援に駆けつけてくださって、私の拙い卓話を一緒に応援しながら聞いていただけたことが大変ありがたく心強かったです。3年間振り返りますと、一度も寒川RCからの発注はなかったという…。他所ではやってきたんですが寒川では出番がなかったということですが、どこかで機会があったらせっかく勉強しましたので、来年の1月の職業奉仕月間の卓話をどこかでやれたらいいなと思っております。また、それに向けて資料も一段とレベルアップしておきたいと思います。いろいろなクラブにお邪魔させて頂いている中で、例会のセレモニーを個性のあるスタイルでやられている

クラブがたくさんあって、いいところがたくさんあるなと思いました。その中で特に感銘を受けたところをご紹介します。一つは「今月は何月間が知っていますか?」。意外と毎月さっさと過ぎてしまうものですから、今月は何の月間なのか知らずに終わってしまう。たまたま第一例会にお邪魔した時に、「今月は〇〇月間です」と発表をするクラブがありました。例えば環境月間とか青少年奉仕月間とかというRIが決めた月間のテーマがあり、その月間のテーマに沿ってセレモニーが組み立てられていたり、あるいはその委員会の方がお話になったりという、その月間を意識するようなスタイルで進められているクラブがありました。もう一つは「ロータリーの友誌」の紹介。私も地区職業奉仕委員会に出向してから目を通すようになりましたが、「ロータリーの友」がポストに入っちゃっていると、そのまま持って帰って、しばらくは机のところに置いてあるんですが、とうとう開かずにそのまま次の号が来ちゃった…みたいなことを今まで何度もやっていました。そのクラブではロータリーの友の担当の方がいらっちゃって、その方がロータリーの友が配られる例会の時には前に出てこられて、ロータリーの友のトピックスをみなさんに紹介されていました。「ここにこんな記事が載っているのだから今月号はととてもためになりますよ」とか「特にこの記事に注目してください」と紹介されて、「その記事、読んでみたいな」と思うようなお話をされています。また、例会中に携帯が鳴ってしまう。どうしても緊急の用事などがありますので、当然皆さん基本的にはマナーモードに設定をされていると思いますが、うっかり鳴っちゃったみたいなこと、ありますよね。津久井中央RCでは司会の方が冒頭で「1回目はうっかりね。もし2回目鳴っちゃったらにつきりスマイルで皆さん笑って許してね」とおしゃるんですね。その話の仕方が非常にスマートな感じで、皆さんに上手に例会の進行の妨げにならないようなマナーの徹底を促していました。いろいろなクラブにお邪魔することで、私自身も話すだけではなく勉強をさせていただく3年間であったなあというふうに振り返ります。あとは卓話の中身くらいしか話すところがないのですが、これをやっちゃうと1月の話のネタがなくなってしまうものですから、職業奉仕自体についての話はまたゆっくり時間を使ってお話させて頂きたいと思います。結局のところ、私自身もつまづいていたのが五大奉仕部門の中の職業奉仕についてでした。最近、地区研修・協議会に参加された方もいらっしゃいますし、新会員の皆さんはまさしく五大奉仕部門について学んだばかりではないかと思いますが、ロータリーの五大奉仕部門、1つ目がクラブ奉仕ですよね。2つ目が職業奉仕、3つ目が社会奉仕、4つ目が国際奉仕、5つ目最後が青少年奉仕。で、「社会奉仕は何となくわかる」「国際奉仕も何となくわかる」「青少年奉仕。これもなんとなくわかる」。でも「職業奉仕ってなんなんだ?」というところで、ちょっと分かりにくいですね。我々が奉仕をして出来上がりが見える、手応えがある、達成するその行先のところが見えているのが、今言った社会・国際・青少年奉仕だったりするんですが、じゃあクラブ奉仕ってなんなのかな?職業奉仕ってなんなのかな?というところがこの3つとちょっと違う。とりわけ職業奉

仕というものはロータリアンひとりひとりの内面に対して、「ロータリアンとして、職業人として高い倫理基準と高潔性を兼ね備え、求められる仕事はすべて価値あるものと認識して仕事に邁進しなさい」ということを言っているんですよ。それが、例えば安売りをして地域の人たちに喜んでもらうことなんだ、ということを行っているのかなと誤解をしていたところがあるんですが、そうではなくて、職業人として、ロータリアンとして、持つべき心の中のその魂の部分のことを言っているのが職業奉仕という言葉だということを勉強しているうちに知るわけです。面白い話を少し。ケンタッキーのカーネルサンダースさんはロータリアンで、46歳の時かなんかに1回破産しているんですよ。事業が全然ダメになっちゃったんですが、それを建て直すのに掲げたのはその職業奉仕の考え方で、その職業奉仕を元にして事業を再生させることに成功したというのが逸話として残ったりするわけですね。職業人として持つべきそういった魂はカーネルサンダースさんも我々もみんな一緒なんだと思います。このところよく委員会の中で議論が繰り返えされていたのが、今は主婦でも入会できるし、ロータクトという、まだ職業についていない人たちが会員のクラブも我々と同じ立ち位置になっているわけです。そうすると、職業奉仕と言っても今までの職業人だけの集まりではなくなっているんじゃないか。それならもう少し変わらなければいけないんじゃないの?といった議論がされるんです。職業奉仕というのはもう今の時代に合わないんだという委員と結構その議論をしました。「いやいや、それは根本たるところの話であって、例えば主婦の方であったとしても、その職業というのは主婦という職業があり、その本分を全うするための心構えというものは、学生の場合の勉強であろうが、主婦の日々の仕事であろうが、そこにロータリアンとして来たら、その本業、職業についてしっかりとその同じ気持ちを持って仕事に挑むというところは全く変わりようがないもの。これは表面的な話ではなく揺るぎのないものなんだ」というところを結構議論しました。最後はそんな議論もできるぐらい勉強させていただいた最終年度の1年でした。もうあと1-2年やってくれと本当にありがたうお声をいただいたんですが、ちょうど次年度副幹事を仰せつかり、7月からの小澤年度には司会を務めさせていただくことになりました。これまでも、今年は特に100%出席を意識して一年間過ごしてまいりました。来年度はもう確実にあそこで司会をしなければという使命感を持たせていただいておりますので、一旦、3年間一生懸命勉強した職業奉仕委員会はここで失礼させていただきたい、というところを佐々木ガバナーノミニに直接お話をしして辞退をさせていただきました。寒川クラブの要職のところを務めあげることができれば、その後何か地区のお手伝いができることがあればまた参りますということになりましたが、本当に勉強になる3年間でありました。チャンスがあったらクラブでご推薦頂ければ地区のお手伝いにまた出かけてみたいというふうに思っております。ありがとうございました。

※当日の例会スピーチより文字起こししました

山本和好地区補助金管理委員会委員



私は地区の財団補助金管理委員会に出向をさせていただいております。私が所属している委員会は今年度寒川クラブも申請しました地区補助金に関わる委員会です。私がこの委員会に出向することになった流れですが、当時、補助金管理委員長だった内野さんのお誘いで村松さんが出向していて、村松さんに最後の年に私を引っ張っていただき一年間一緒にやらせていただきました。それで、その次の年から私が寒川から出向しているという流れです。私は今4年目になります。財団の話は「あまり面白くない」とか「もう知ってるよ」という方もいらっしゃると思いますが、今日は敢えてその辺のお話をさせていただきます。資料をご覧ください。地区ロータリー財団委員会というのがございます。まさしく第2780地区の皆さんから集まった寄付金を元に地区財団活動資金：DDFと国際財団活動資金：WFに分配し、地区補助金・グローバル補助金として使っていくことを大きく司る委員会となっています。で、その中に**財団補助金委員会**があり、さらにその中に「**補助金配分・VTT委員会**」「**補助金管理委員会**」「**財団資金推進委員会**」「**平和フェロー・奨学金委員会**」「**ポリオプラス委員会**」の5つの委員会があります。まず「**平和フェロー・奨学金委員会**」。私も普段それほど交わらない委員会ではありますが、地区補助金奨学生・グローバル補助金奨学生・財団奨学生・平和フェロー奨学生に関するサポートや募集を行っています。東京都三鷹市にある国際基督教大学：ICUが日本で唯一の提携大学です。次に後で説明しますが私が出向している「**補助金管理委員会**」。そして「**財団資金推進委員会**」は財団活動の啓発、卓話者の派遣、寄付を募り資金推進を図る委員会です。2か月に1回財団の委員会に出席していますが、この資金推進委員会が現段階の各クラブの年次寄付の寄付率を毎回発表しています。毎年7月から年度が始まり11月ぐらいに各クラブの寄付率がガンと上がるらしいのですが、今年度に限っては11月末の段階でもなかなか寄付率が上がらず、今この時期になっても未だに低い状態が続いていると聞きました。寄付金額が低いと3年後に我々が地区補助金やグローバル補助金として使えるお金が少なくなる。その時に厳しくなるということになります。それから「**ポリオプラス委員会**」があります。ポリオプラス委員会は過去財団に入っていたのですが、ここ1-2年財団から一端離れて独立した委員会となっていました。今年度になってまた財団

委員会に入った。そういったところです。次年度は下里さんがポリオプラス委員会に出向されることになっています。ポリオ根絶の啓蒙、寄付推進、10/24ポリオデーの活動推進などを担当しています。今年度は去年の10月に大和のシリウスでピアノコンサートを行いました。私も会場に行きましたが、ポリオのポロシャツ販売や会場の準備などをされていました。「**補助金配分・VTT委員会**」は、今回寒川クラブが申請した地区補助金申請やグローバル補助金申請を審査するところです。今年は補助金申請の締め切りが3月15日でしたが、ギリギリに出すとこの委員会でチェックしてもらう時間がなくて直せない状態になってしまいます。ですから、結構余裕を持って、例えば3月15日に締め切りなら2月15日に申請を出せば、この配分委員会の担当者が付きますので、チェックしてもらって、「こういう風にしたい方がいいですよ」とか「これだと寄贈みたいになっちゃうから、こうしたい方がいいですよ」といったアドバイスをしてくれる委員会です。申請書が提出された後、補助金審査があります。この補助金審査も「**補助金配分・VTT委員会**」が主に行きます。今回は寒川クラブからは晋一さんが行かれましたが、自分たちの補助金事業をプレゼンすることができます。各クラブからのプレゼン終了後に、委員のみの審査があり、今度は申請を出したクラブの「**補助金配分・VTT委員会**」担当委員によるプレゼンがあります。そこでは自分の担当するクラブの申請を通すためのプレゼンを行いますので、「こんな風にしたい事業だと思います」というその一言が申請結果に反映されることがあります。ま、ダメなものはダメなんです。メインは「**補助金配分・VTT委員会**」がやりますが、私が出向している「**補助金管理委員会**」も一応審査に携わります。補助金管理委員会としてはそこから補助金事業に関わっていきます。今年度は地区補助金の申請が27クラブから出され、1クラブがいろいろあって取り下げました。結果、26クラブが補助金の対象になりました。恐らくすべてのクラブが満額支給だったと思います。そして、5月8日、補助金支給クラブ説明会が行われました。ここからいよいよ「**補助金管理委員会**」がクラブと一緒にその事業、寒川クラブだとスポーツイベントですね、に携わっていきます。「いつやるんですか?」「問題はないですか?」「費用は申請書通りやっていますか?」みたいなことを確認しながら進めていきます。一番大事なところが最後に提出する完了報告書です。完了報告書というのは、基本的に申請書に対してちゃんと実施されたかどうか。また、財団からもらった補助金ですので、お金の出し入れはその範囲の中で適切に行われていたか。領収書、見積書、請求書、それらの照合。そして、その事業に関する打ち合わせの議事録がきちんと取られているかどうか。また、事業実施の時の写真をきちんと撮っているか。これらのチェックが一番の仕事になります。この時期になりますと今年度補助金事業を実施したクラブさんからの補助金完了報告書をチェックしながら、次年度の補助金事業に携わるということで、5月～6月が一番忙しい時期となります。補助金管理委員会のメンバーは委員長副委員長合わせて10人いますが、次年度から5人になってしまいます。しかも今年度は補助金申請している

のが9クラブでそれを実質8人でやっていたんですが、次年度は26クラブを5人でやるという…。財団委員会の中を見ますとパストガバナーが非常に多い。財団委員長は後藤定毅PG(大和中RC)、大口寄付アドバイザーに杉岡芳樹PG、地域コーディネーターに大谷新一郎PGで、皆さん委員会には顔を出されます。4年間地区補助金管理委員会に行かせていただきましたが、次年度、副委員長として出向して一区切りつけようと思っています。次年度は委員会メンバー 5人の中の一人として茂内会員に加わっていただき、一緒に補助金管理委員会で頑張っていきます。寒川RCの補助金委員会に関わる人脈を自分で途切れさせるわけにはいきませんので、茂内さんにつなぐような形で引き続きよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

※当日の例会スピーチより文字起こししました